

第3学年体育科 「みんなの力で技をカッコよく ～器械運動（マット運動）～」

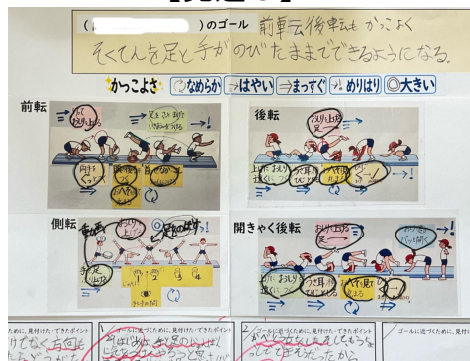
学習指導者 安岐 美佐子

6年生の技の動画（前転、後転、開脚後転、側転）を見た子供たちは、自分も大きく、滑らかに、速く動けるなど、カッコよく動けるようになりたいと思いを高め、一人一人がカッコよくしたい技を選び、ゴールを設定しました。選んだ技をカッコよくするために、どのポイントから取り組めばよいか試したり友達と確認したりしながら、課題を設定する方法が身に付くようにしました。

おへそを見て滑らかに転がろう

足を伸ばして大きな側転にしよう

【見通し】



まず、自分のゴール追求シートに書いている選んだ技（ゴール）を確認しました。次に、前時の振り返りで確認したゴールに近づくために取り組むポイントを選び、それを本時の課題として設定しました。その後、活動の時間を共有しました。

【行動】

初めに、自分の課題を意識するため、ポイントが書かれたボードに名前磁石を貼りました。そして、手や足の着く位置や向きの目印、おへそを見るためのゴムベルト、傾斜のある場など、課題に応じて練習の場を選んで取り組みました。その際、友達に自分の課題を伝えて見てもらったり、動画に撮って手本の6年生と比べたりして、よりカッコよく動けるように、何度も挑戦していきました。



【振り返り】

自分のゴール追求シートを使って、本時の取組を振り返りました。できるようになったポイントに丸を書き足したり、自分のゴールに近づくために必要なポイントを新たに見付けたりしました。また、課題解決につながった取組方も記述していました。最後に、全体でできたことを共有することで、本時の学びをより明確にし、次にしたいことを見いだしました。



成果と課題

○場の設定などの工夫によって、子供たちが自分のゴールに向けて主体的に課題を解決しようとしていく姿が見られた。
 ▲ポイントが書かれたボードを手掛かりにして、友達同士で見合ったり声をかけ合ったりする姿は見られたが、できれば正しく伝えられていないところもあった。動きを見る際の視点やその目印の工夫がさらに必要であった。また、動画で確認してから解決したポイントに丸を書くなどの工夫も考えられた。